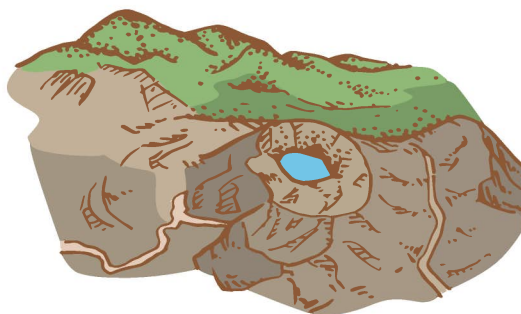


|開|催|要|綱|

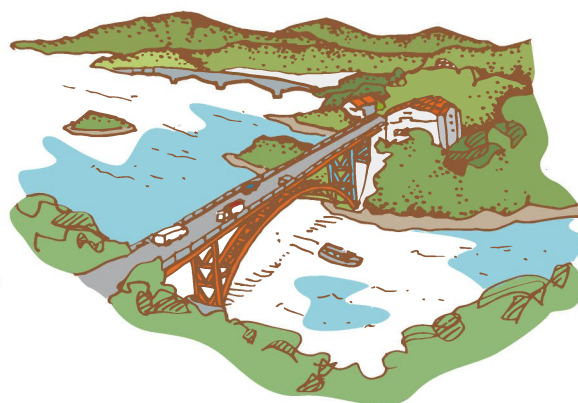


令和7年度
**九州ブロック
地域福祉研究会議**
【熊本大会】



大会テーマ

住民や関係機関・団体と
ともにつくる豊かな
地域社会を目指して



1 趣 旨

阪神・淡路大震災以降、全国各地で大きな災害が頻繁に発生し、各被災地では、災害ボランティアセンターを中心とした被災者の救援活動が行われてきました。このような中、社会福祉協議会においては、「協働型災害ボランティアセンター」の設置・運営に向けて、平時から関係機関・団体との協働による支援体制を確保しておくことが必要です。

また、近年の少子・高齢化や人口減少の急速な進行、高齢者世帯や単身世帯の増加等により、家族や地域の繋がりが希薄化する中で、社会的孤立やひきこもりをはじめ、複合化・複雑化した生活課題が表面化しており、誰もが支え合う地域共生社会の実現に向けて、地域における包括的な支援により解決する仕組みづくりが求められています。

さらに、令和3年度から施行されている「重層的支援体制整備事業」については、住民の地域福祉活動への参加促進をはじめ、身近な圏域での総合相談や生活課題の支援体制づくりに向けて、各分野が連動した制度・施策の展開が図られており、今後なお一層、行政と協働した社会福祉協議会の活躍が期待されます。

これらの状況を踏まえて、本研究会議は、九州各県・指定都市の社会福祉協議会及び関係機関・団体等の関係者が一堂に会し、あらゆる関係者が協働した、地域福祉活動の可能性を考えるとともに、社会福祉協議会が今後、取り組むべき活動や求められる役割等について協議することで、各地域における地域福祉の推進を図ることを目的に開催します。

2 主 催

九州社会福祉協議会連合会、九州社会福祉協議会連合会地域福祉委員会
社会福祉法人熊本県社会福祉協議会、社会福祉法人熊本市社会福祉協議会

3 共 催

日本地域福祉学会九州・沖縄部会
熊本県市町村社会福祉協議会連合会

4 期 日

令和7年9月10日(水)・11日(木)

5 会 場

ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
〒860-8575 熊本県熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地 電話 096-354-2111

6 参加対象者

- (1) 市区町村社会福祉協議会の役員及び職員
- (2) 九州各県・指定都市社会福祉協議会の役員及び職員
- (3) 日本地域福祉学会の会員
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) 民生委員・ボランティア・NPO法人等地域づくりを推進する関係者
- (6) 福祉に関心のある学生等

7 参加人員予定

350名

8 参加経費

- (1) 参 加 費 8,000円(税込) (学生は1,000円)
- (2) 交流会費 8,000円(税込)
- (3) 宿 泊 費 ホテルごとの設定による。* 別添宿泊案内参照

9 日 程

* 午前10時30分から分科会関係者による運営委員会を行います。
一般参加者は午前11時30分の受付から御参加いただきます。

【大会1日目：9月10日(水)】

10:30	11:30	12:30	13:00	13:45	14:00	17:00	18:00	20:00
運営 委員会	受付	開会 式典	基調 報告	休憩 移動	分科会	休憩	交流会	

【大会2日目：9月11日(木)】

9:00 10:00 10:15 11:40 12:00



(1) 大会1日目〔9月10日(水)〕

ア 受付(11:30～12:30)

イ 開会式典(12:30～13:00)

○主催者挨拶

九州社会福祉協議会連合会地域福祉委員会委員長

○開催地挨拶

熊本県社会福祉協議会会長、熊本市社会福祉協議会会長

○九州社会福祉協議会連合会会長表彰

○来賓祝辞

熊本県、熊本市

ウ 基調報告(13:00～13:45)

「ともに生きる豊かな地域社会の実現に向けた社会福祉協議会の役割について
～“社会福祉協議会基本要項2025”の策定を踏まえて～」(仮題)

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部

エ 分科会(14:00～17:00)

○第1分科会「社協組織・経営基盤の強化に向けた取組み」

○第2分科会「包括的な支援体制の構築における社協の役割」

○第3分科会「高齢者等の権利擁護と地域生活支援」

○第4分科会「住民主体の生活支援活動の構築」

○第5分科会「災害支援における多機関協働」

オ 交流会(18:00～20:00)

参加希望者による合同交流会を行います。

(2) 2日目〔9月11日(木)〕

ア 施策の動向(9:00～10:00)

「地域福祉をめぐる制度・施策の動向について」(仮題)

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

イ 記念講演(10:15～11:40)

「こどもまんなか～「誰かが」ではなく「誰もが」集える居場所へ～」

ふるさと元気子ども食堂 代表/大学生講演家 宮津航一氏

ウ 閉会(11:40～12:00)

○次期開催地挨拶

大分県

○閉会挨拶

日本地域福祉学会 九州・沖縄部会

10 参加・宿泊・昼食等の申込みについて

(1) 参加希望者は、別添「参加・宿泊等のご案内」を御確認のうえ、所定の方法により、名鉄観光サービス(株)熊本支店へ直接お申し込みください。

(2) 請求書・参加券等の発行は、名鉄観光サービス(株)熊本支店が運営する専用 Web サイトから行います。お申し込み後の内容に基づき、指定方法に従って、請求書等の発行及び参加費等の振込を行ってください。

(3) 分科会については、定員の都合上、希望に添えない場合があります。お申込みの際には、第2希望まで御登録いただきますが、調整については、事務局に一任させていただきますので御承知おきください。

申込専用ページ：<http://www.mwt-mice.com/events/R7-kyuburo>

11 申込期間

令和7年7月1日(火)～7月31日(木)

12 表彰

九州社会福祉協議会連合会会長表彰について、別に定められた顕彰規程により、開会式典で行います。

13 緊急時(荒天時)等の対応

緊急時(荒天時)等により開催を中止すると判断した場合は、9月8日(月)の午後3時までに熊本県社会福祉協議会ホームページでお知らせしますので御確認ください。

熊本県社協ホームページ：<https://www.fukushi-kumamoto.or.jp/>

14 個人情報の取扱いについて

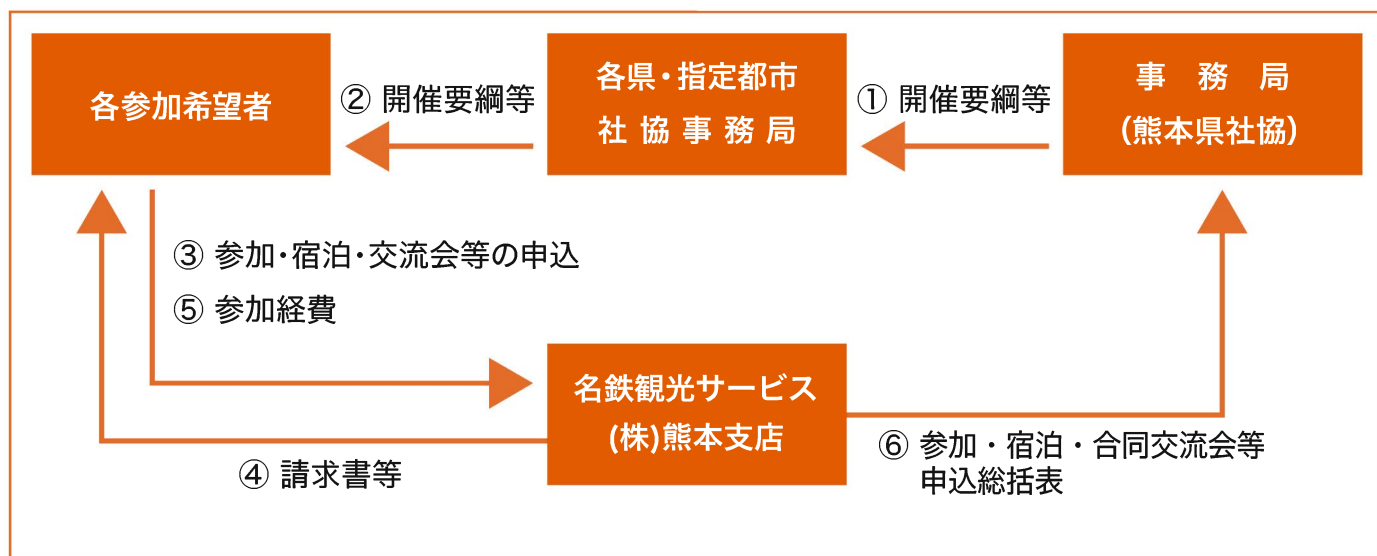
(1) 参加申込にあたり御登録いただいた個人情報は、運営に関する業務以外の目的には使用しません。

なお、県名・所属名・参加者名・役職名を記載した参加者名簿を作成し、資料に掲載します。

(2) 九州社会福祉協議会連合会会長表彰に関して、令和6年度及び令和7年度の表彰

対象者の県名・所属名・氏名・役職名を資料に掲載します。

15 各手続き等の流れ



16 問い合わせ先

参加・宿泊・交流会等申込先

名鉄観光サービス(株)熊本支店

〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街 11-18 熊本第一生命ビルディング 7 階

電話 096-354-4351 ファックス 096-354-4359

メールアドレス kumamoto@mwt.co.jp

大会事務局

社会福祉法人熊本県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課 (担当 佐々木、岡本)

〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町 3-7

電話 096-324-5470 ファックス 096-355-5440

メールアドレス shakyo2@kumashakyo.jp

◆ 各分科会の御紹介 ◆

【第1分科会】

『社協組織・経営基盤の強化に向けた取組み』

※論点：社協組織における人材確保・育成、財源確保、法人運営、DX化の取組み

〈趣 旨〉 少子高齢化や人口減少が続く中、会費や寄付金収入の減少が見込まれるとともに、行政からの補助金や委託料収入並びに介護保険等の事業収入の確保も厳しい状況にあります。一方、社協に求められる事業は多岐にわたり、経費削減などによる支出軽減にも限界があり、補助金等の公的財源を維持しながら、それ以外の新たな財源の確保を考えていかなければなりません。

また、経営組織のガバナンス強化や事業運営の透明性向上が求められており、社会福祉協議会の公益性を示していくことがこれまで以上に重要となっています。さらには、人材確保・育成・定着と併せて、DX化による業務効率化に取り組むことが求められます。

第1分科会では、社協組織を取り巻く情勢を踏まえ、今後の経営基盤強化に向けた取組みについて考えます。

〈座 長〉 福岡県社会福祉協議会 地域福祉部長 勝野 耕太郎 氏

〈助言者〉 北九州市立大学 地域創生学群 非常勤講師 藤田 博久 氏

〈発表者〉 鹿児島県／霧島市社会福祉協議会 経営改善推進課長 林 歩美 氏

福 岡 市／福岡市社会福祉協議会 総務部長 古藤 孝子 氏

熊 本 市／熊本市社会福祉協議会 総務課長 宮部 大輔 氏

【第2分科会】

『包括的な支援体制の構築における社協の役割』

※論点：生活困窮者支援、生活福祉資金貸付制度、生活支援体制整備事業、重層的支援体制整備事業の取組み

〈趣 旨〉 脆弱化する中で、社協の相談窓口や地域福祉活動、在宅福祉サービス等の現場においても、対象者や分野別の福祉制度では解決が難しい課題が増えています。

複雑化・複合化する生活課題に対応していくためには、分野を超えた地域内の多職種連携・多機関協働を進めることが必要であり、公的な制度・施策だけでなく、これまで社協が推進してきた総合相談・生活支援等の取り組みをさらに強化することが求められます。

第2分科会では、市町村で取り組む、包括的支援体制の構築において、地域福祉を推進する社協が今後どのような役割を果たすべきかについて考えます。

〈座 長〉 佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課長 小松 美佳 氏

〈助言者〉 九州大学 人間環境学研究院 人間科学部門 教授 高野 和良 氏

〈発表者〉 沖 縄 県／豊見城市社会福祉協議会 相談支援係長 金城 昌範 氏

北九州市／北九州市社会福祉協議会 地域支援課長 藤永 恭子 氏

熊 本 県／大津町社会福祉協議会 地域福祉係長兼主任 池本 孝之 氏

【第3分科会】

『高齢者等の権利擁護と地域生活支援』

※論点：高齢者等の権利擁護、法人後見、終活サポート事業等の取組み

〈趣 旨〉 一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯、認知症高齢者の数が増加する中で、行政及び社協には、高齢者の尊厳を守り、高齢者虐待の防止など権利擁護のための施策を積極的に実施する責務があります。一方で、住民の高齢者の権利擁護に関する理解を深め、市民後見人等として協力を求めることも必要です。

また、高齢者等の尊厳ある人生には、自己決定できること、認知症となっても住み慣れた地域の中で自分らしい人生を全うできること、そして、一人ひとりの人権や財産を守っていくことが重要です。

第3分科会では、地域における総合的な権利擁護体制を構築するために、社協が担うべき役割について考えます。

〈座 長〉 長崎県社会福祉協議会 生活支援課長 近藤 枝里 氏

〈助言者〉 筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 心理・社会福祉専攻 准教授 前田 佳宏 氏

〈発表者〉 大 分 県／竹田市社会福祉協議会 生活相談課 参事 高野 初輝 氏

福 岡 市／福岡市社会福祉協議会 終活サポートセンター所長 吉田 時成 氏

熊 本 県／荒尾市社会福祉協議会 地域共生課長 野尻 大輔 氏

【第4分科会】

『住民主体の生活支援活動の構築』

※論点：福祉教育・社会的包摂の推進、地域共生社会の構築

〈趣 旨〉 地域共生社会の実現には、住民一人ひとりが主体的に関わり、互いを支え合う生活支援活動の構築が不可欠です。また、住民の福祉に対する理解を深めるための「福祉教育」の推進、多様な人々が共に生きる「社会的包摂」の推進、そして、地域全体が共生できる社会の実現に向けた取組みが求められています。

第4分科会では、この目標達成に向け、社会福祉協議会が地域住民と共に、より住みやすい地域社会を築くための新たな視点を提示し、社会福祉協議会が果たすべき役割を多角的に検討します。

〈座 長〉 宮崎県社会福祉協議会 参事兼地域福祉部長 栗野 晃成 氏

〈助言者〉 北九州市立大学 地域創生学群 教授 坂本 毅啓 氏

〈発表者〉 佐 賀 県／みやき町社会福祉協議会 地域づくり課 支え合い推進係長 甲斐 利恵 氏

長 崎 県／南島原市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 佐藤 辰之丞 氏

熊 本 県／天草市社会福祉協議会 福祉のまちづくり課 地域福祉係長 山川 祐太 氏

【第5分科会】

『災害支援における多機関協働』

※論点：被災者支援、協働型災害 VC の運営、災害ケースマネジメント

〈趣 旨〉 近年、全国的に大規模な自然災害が頻繁に発生し、災害規模も激甚化する中で、各被災地では、社会福祉協議会、行政、NPO、企業など様々な主体が連携・協働した災害ボランティア活動が展開されています。また、災害ボランティア活動の三原則である「被災者中心」、「地元主体」、「協働」をもとに、「協働型災害ボランティアセンター」の運営が求められています。

今後、発生が想定されている南海トラフ地震等の大規模地震に備え、被災者の多様なニーズに対応するためには、「多機関協働」が不可欠であり、被災者の生活フェーズの移行に伴った支援が重要です。

第5分科会では、災害時における被災者支援のあり方や「協働型災害ボランティアセンター」の運営、災害ケースマネジメントのあり方等について研究・協議します。

〈座 長〉 鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部長兼ボランティアセンター所長 池下 真也 氏

〈助言者〉 熊本学園大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 黒木 邦弘 氏

〈発表者〉 福岡県／久留米市社会福祉協議会 地域福祉課長 漆原 数弥 氏

宮崎県／宮崎市社会福祉協議会 地域福祉係長 今塩屋 あずさ 氏

熊本県／球磨村社会福祉協議会 福祉活動専門員 槻木 正剛 氏

※座長、助言者、発表者については変更となることがあります。

◆ 記念講演のご紹介 ◆

■大会2日目：9月11日(木) 10:15～11:40

■記念講演「こどもまんなか～「誰かが」ではなく「誰もが」集える居場所へ～」

宮津 航一 氏 ふるさと元気子ども食堂 代表 / 大学生講演家



宮津航一 プロフィール

2003 年生まれ。2007 年慈恵病院（熊本市）のこうのとりのゆりかごに預けられる。同年、里親の宮津美光・みどり夫妻のもとへ委託。2021 年普通養子縁組成立。同年ふるさと元気子ども食堂を開設。2022 年こうのとりのゆりかごに預けられた生い立ちを公表。熊本朝日放送テレメンタリー 2022 はじめ多数のメディアに取り上げられる。2023 年国際ソロプチミスト日本財団大学生ボランティア賞受賞。大学生講演家として、講演活動も多数行っている。現在、熊本県立大学総合管理学部総合管理学科在学中。ふるさと元気子ども食堂代表。一般社団法人子ども大学くまもと理事長。

ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

〒860-8575 熊本県熊本市中央区東阿弥陀寺町 TEL 096-354-2111

<https://anacpkumamotonewsky.com/>



交通のご案内

- JR 熊本駅より車で 3 分 (徒歩 8 分)
- 阿蘇くまもと空港より空港リムジンバスで約 50 分
- 市電祇園橋電停より徒歩 2 分